

埼玉県議会議員

わたなべ

# 渡辺 そいichろう

県政報告 Vol.10



## 救急搬送のスピード向上を!



**渡辺の一般質問** 県内の救急搬送数が増加しており、救急患者のたらい回しも増えている。救急隊員が電話で病院を探して立ち往生する事例も見られる。**受け入れ可能な病院が瞬時にわかる**一斉照会システムの拡充を図るべき。現在は大動脈解離のみにこのシステムが使われているが、**それ以外の救急でも活用できるように**システム改善を。

**県の答弁** 一斉照会システムの拡充は救急搬送の時間短縮につながると考えるが、システム改良には病院との調整が課題となる。救急や病院等の現場の意見を確認しながら、**システム改善に向けて検討**を行う。



### これまでの一般質問で実現したこと

◆2年前の渡辺の一般質問: 県が責任を持って小児医療機関を支援し、小児救急の受け入れ拡大を図るべき。

◆今年度から: 県で小児救急の受け入れ拠点病院を指定し、支援金を出す取り組みが始まりました。



**ひとこと** 今回の質問にあたっては救急隊員の方々からも意見を頂きました。他県では救急車がリアルタイムで受け入れ病院を判断できるシステムを導入している所もあります。医師確保や病床増加など根本的な対策と並行して、システム面でも救急医療の改善を図っていきます。



## 白岡市役所火災からの復旧支援



白岡市役所の火災から半年が経過。埼玉県も復旧に向けてサポートを行っています。火事のあった本庁舎は**建て替えではなく大規模修繕**で対応するという方針が市から発表されました。現在はプレハブ仮庁舎の建設が進んでいます。また、出火原因については1階のコンセントに接続されたプラグの接触不良が原因との事です。

### 渡辺の一般質問

国からの支援に災害復旧事業債や交付税措置があるが、自然災害には手厚い支援が行われる一方で、白岡市の場合は残念ながらそうではない。**自然災害を起因とするものと同等の支援**を受けられるよう、県からも国に要望すべきだ。また、県単独でも**さらなる財政支援**が検討できないか。



### 知事の答弁

市役所火災は火災保険では賄われない多額の財政負担が生じる。国に対して**支援制度の改善**に向けて要望していく。県においてもふるさと創造資金など**さらなる財政支援を検討する**。

### ひとこと

市役所の復旧について、火災保険の保険金額はまだ決まっておらず、支払われるまで数年かかります。現状は市が借金で対応する部分が大きく(地方債等)、過度な将来負担とならないよう注視が必要です。



近隣の県議に状況を説明

### 県議会からも意見書を国に提出!

埼玉県議会から「庁舎火災からの復旧のための支援拡充を求める意見書」を国に提出。白岡市役所と連携しながら渡辺が案を作成し、全ての会派賛成で可決となりました。

# 公共交通の充実に取り組む!



県と市で費用を出し合っ**て新たな公共交通サービス**の実証実験を行っています。公共交通の空白地域である**菫菫地区**にて、住民の方を「**ジャンボタクシー**」で**スーパーまで送迎**する取り組み。利便性はどうか、利用率はどうかなどデータを取りながら事業継続の必要性を検討していきます。



菫菫地域で集会を開いた際に、買い物等に不便を感じている皆様から意見を頂いてきました。ジャンボタクシーはそうした交通不便地域の方々の移動手段の選択肢を増やす取り組みです。



## 自動運転の導入を県が支援すべき!

**渡辺の一般質問** 運転手不足が深刻化する中で自動運転の普及が期待される。先進自治体ではレベル4(人が乗車せず運行)の導入も出てきた。しかし**多くの市町村では財源やノウハウが不足し導入まで進まない**。中小市町村でも先進的な公共交通を導入しやすくする仕組みが県主導で必要だ。県が共通プラットフォーム整備や研究開発、実証実験を積極的に行い、**県が自動運転普及のハブになるべきではないか**。

**知事の答弁** 自動運転技術を活用したモビリティサービスは地域の足の確保に資するものと認識している。まずは県で**自動運転に特化した研究会を設立**し、県が主体的に普及に向けた取り組みを始める。



## スクラップヤード規制条例がスタート!

埼玉県で**スクラップヤード規制条例が始まりました**。(渡辺は副事務局長として条例を起案)金属などを積み重ねるスクラップヤードが生活に悪影響を与えるケースが増えている事から



条例制定しました。**不適切なものは規制対象として罰則もあります**。地域では鉄などの金属が盗まれる犯罪も増加していますので、総合的な対策強化を目指していきます。

## 持続可能な農業環境をつくる試み



梨団地の整備



補償も始まる

## 外国資本による土地取得の制限を求める意見書

外国人や外国系法人による日本の不動産取得が進んでいます。防衛施設周辺等でも土地取得が進んでおり大きな問題です。そこで県議会から国に対して次の意見書を提出しました。**「WTO協定について協議を進め、外国資本による不動産の取得を制限する法整備を求める。また具体的に事前審査制度の導入や、監視体制の整備に早急に取り組むことを強く求める。」**

県内の梨は今年も人気です。県では梨の振興と魅力発信のために白岡市**大山地区で新たな梨団地**の整備を進めています。また昨年の一般質問で取り上げた水稲の**高温被害への支援も実施**されました。(種苗や肥料の費用補助)。最近では梨や葡萄の鳥獣被害もご相談頂いていますので、被害状況の調査を進めています。

## 活動日記



夏は各地のお祭りに参加



県内大会で挨拶



委員会で議論



ミニ集会を開催



駅頭活動にて

### 渡辺そういちろう プロフィール

1984年生まれ。明治大学大学院公共政策研究科卒。IT企業勤務、衆議院議員秘書を経て、白岡市議会議員に当選。総務委員長や議会運営委員長などを歴任。2023年から白岡市・宮代町選出の埼玉県議会議員として活動。産業労働企業委員会にて副委員長を務める。八潮市道路陥没調査特別委員会にも所属。趣味は歴史小説・歴史マンガ読書。

発行日: 2025年11月17日

発行元: 埼玉県議会自由民主党県議団 渡辺そういちろう県政事務所

連絡先: 〒349-0212 埼玉県白岡市新白岡4丁目8-4 シオン102 TEL 0480-53-3623

MAIL soichirowt21@gmail.com WEB <https://www.so-wat.net/>



X



Webサイト



Youtube



Instagram